



令和4年3月25日 鈴鹿市立稲生幼稚園



No.12 あかるく たのしい いのうようちえん

3月23日（水）に、さくら組18名の卒園式を無事に終わることができました。

1月11日（火）から3学期がスタートしましたが、1月12日より三重県に「感染拡大阻止宣言」が発出されました。その後、鈴鹿市内でも新規感染者が増え続けて、1月21日（金）から2月13日（日）まで「三重県まん延防止等重点措置」が発出され、その後3月6日（日）まで延期されました。



そのため、1月27日に予定していた食育劇を一旦延期した後中止し、園児の劇や合奏などを保護者に見てもらふ発表会も延期したものの、参観を行うこと自体が難しく、発表内容を録画して保護者に発信しました。まん延防止等重点措置期間中は、4歳児と5歳児がお互いの保育室を往来することを避け、遊戯室での2クラス合同の一斉活動は行わない

ようにしました。毎日の手洗い消毒と、給食の時間以外は常にマスクをしたままの園生活でしたが、劇や合奏などは、保育参観という形では披露できませんでしたが、幼稚園生活で今まで培ってきた力を発揮する活動として練習を続けました。クラスみんなで、同じ目的に向かい力を合わせて劇や合奏をやり遂げた達成感や満足感を感じることで、自信につながり、



どの子も一回り大きく成長したと感じています。

コロナウイルス感染症に向き合いながら、地域の皆様との交流や保護者の方の参観も制限せざるを得ない1年でした。その中で、PTA役員はじめ保護者の皆様のご協力や稲生小学校や地域の皆様のお力のおかげで、3月25日（金）の終業式を、もも組全員そろって行うことができました。稲生幼稚園を支えていただきました皆様に感謝申し上げます。そして、4月からの新年度も、どうかよろしくお願ひいたします。

